評価シート 様式

	取組名	ブロードバンド徹底活用1000人塾 -地域賑わいづくり人材養成プロジェクト-			
実施団体名		徳島大学	対象地域		徳島市
代表団体名		推薦団体名 徳島県			
	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか □ 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。			平成21年	度に行われた取組の当初目標の達成状況について
				□ 当初設気	Eした目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。
	■ 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		2		Eした目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部 Bをあげたと認められる。
実施状		申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		□ 実施した たと認め	取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかっられる。
況	(備考・特記事項)			(備考·特記	上事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、②において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

③ 次年度以降に向けた所見

ICTを用いたシステムは、地域からの情報発信に加え、地域外からの情報収集にも有効な手段である。今回の調査において、大学が核となることにより商店街商店主のブロードバンド活用、販売促進用ブログ作成に係る能力の向上、地元の人材養成が図られたことから、今後は、ICTシステム利活用により、商品・サービスの内容や供給のタイミングに対する消費者の需要調査等に取り組むことにより、商業振興、雇用創出を通じた地域活性化を目指すことが期待される。

また、市内を流れる新町川における「水辺に人が集まるまちづくり」や市内の商店街における「チャレンジ!とくしま賑わいプロジェクト」と有機的な連携を図っていくことが期待される。